

HIVジェノタイプ薬剤耐性検査（標準法/高感度法） 報告書改訂のお知らせ

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標記のHIVジェノタイプ薬剤耐性検査につきまして、多剤耐性HIV-1感染症の治療薬としてCapsid阻害作用を有するレナカパビル（LEN）が日本で承認されたことを受け、報告書が改訂となりますことをご案内申し上げます。

改訂内容

高感度法にCapsid領域の報告欄を追加し、PR, RT, IN, CA (Capsid) の薬剤耐性関連アミノ酸変異及び耐性レベルをご報告いたします。

PR, RT, IN の報告内容に変更はございませんが、CAの報告欄を追加するため表示位置が一部変更となります。

標準法につきましては報告内容に変更はございませんが、高感度法と同じ報告書様式を使用するため表示位置が一部変更となります。

謹白

記

変更日 2024年1月ご依頼分より

HIVジェノタイプ薬剤耐性検査		(項目コード: 8731, 8732)
◆改訂内容		
	内容	
項目コード	8732	
検査項目名	HIVジェノタイプ薬剤耐性検査（高感度法）	
報告範囲	PR, RT, IN, CA (Capsid) の 薬剤耐性関連アミノ酸変異及び耐性レベル	
報告書	改訂あり	
	内容	
項目コード	8731	
検査項目名	HIVジェノタイプ薬剤耐性検査（標準法）	
報告範囲	PR, RT, IN の薬剤耐性関連アミノ酸変異及び耐性レベル (変更はございません)	
報告書	改訂あり	